

作成年月日	平成25年9月24日
作成課室名	教育委員会事務局文化財課

兵庫県立考古博物館
平成25年度秋季特別展

「動乱！ 播磨の中世 - 赤松円心から黒田官兵衛まで - 」



国宝 赤松性具（満祐）巻数返事（京都府立総合資料館蔵 東寺百合文書）

赤松氏は円心則村（えんしんのりむら）（1277～1350）の時、後醍醐天皇の命に応じて鎌倉幕府倒幕に尽力し、後には足利尊氏に従って室町幕府の成立に果たした多大の功績により嘉吉（かきつ）の乱後の一時期を除いて戦国時代に至るまで播磨国守護として君臨します。

一方、戦国時代末期の播磨に赤松氏の陪臣の子として生まれた黒田官兵衛孝高（よしたか）は、羽柴秀吉の軍師として縦横に知略を巡らし、やがては天下人秀吉さえも恐れさせた播磨が生んだ英雄です。

今回の展覧会では、赤松氏ゆかりの遺跡から出土した発掘資料や伝世資料を通して、円心に始まる南北朝時代の赤松氏の台頭から戦国時代末期の黒田官兵衛の登場と赤松氏の滅亡までをたどります。

- 1 会 期 平成25年10月5日（土）～12月1日（日）
- 2 展覧会名 「動乱！ 播磨の中世 - 赤松円心から黒田官兵衛まで - 」
- 3 会 場 兵庫県立考古博物館
- 4 主 催 兵庫県立考古博物館、読売新聞社
- 5 後 援 兵庫県、兵庫県教育委員会、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西
- 6 協 力 大手前大学史学研究所、山陽電気鉄道株式会社
ひょうご考古学倶楽部
- 7 開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 8 休 館 日 月曜日（祝日の場合は翌平日）

- 9 観覧料 大人 500 円(400 円) 大学生 400 円(320 円)
 高校生 250 円(200 円) 小中学生無料
 ()内は 20 名以上の団体割引料金
 障害者およびその介護者、満 65 歳以上の方は半額

- 展覧会の構成 -

赤松氏ゆかりの遺跡からの出土品や伝世品など資料 500 点を展示
 城跡や中世の「宿」など赤松氏に関連する遺跡から出土した考古資料及び陶磁器、
 絵画、文書などの伝世資料から、守護赤松氏の興亡と黒田官兵衛の登場、中世の交
 易の展開を紹介。

南北朝の動乱と赤松氏の台頭

室町幕府成立に寄与した赤松円心と三男則祐は、播磨
 国守護に補任されるとともに、京極氏、一色氏、山名氏
 らとともに四職の一つとして幕政に関与し幕府内におけ
 る赤松氏の地位を不動のものとした。

赤松則祐が建武 3 年(1336)～暦応 3 年(1340)にか
 けて南朝方の丹生山を攻めた際、赤松軍が拠点とした「志
 染軍陣」と考えられる三木市吉田住吉山遺跡の発掘資料
 など最新の資料からその伸張過程をたどる。



青磁鳳凰耳花生(白鶴美術館蔵)

将軍と守護 - 赤松氏の全盛期 -

円心の死後、長男範資は摂津、次男貞範
 は美作、三男則祐には備前の守護職が与え
 られ、播磨と併せて赤松氏は一族で 4 力国
 の守護職をもつ大大名へと躍進する。全盛
 期の赤松氏を資料でたどる。



「国宝赤松性具(満祐)巻数返事」
 (京都府立総合資料館蔵 東寺百合文書)

赤松氏の再興と応仁・文明の乱

応仁・文明の乱の結果、将軍の権威は地に落ち、有力守護も領国内で守護代やさら
 にはその家臣である国人層が自立の動きを見せるようになり、やがて下剋上の風潮が
 蔓延する戦国の世へと移ってゆく。播磨の支配を巡っては、赤松氏と嘉吉乱以来の仇
 敵但馬守護山名氏との抗争は応仁・文明の乱終結後も長く続き、両氏の領国支配の弱
 体化の要因の一つとなって行く。

宿と流通 - 赤松氏治下の播磨の一様相

山野里宿遺跡の調査成果から -

『東寺百合文書』には山野里の倉の記載が見え、白旗城の兵糧米を保管するための倉がここに存在した可能性が高いことから、赤松氏との関係が深い「宿」と考えられる山野里宿遺跡の調査成果をもとに、当時の交易の実態を探る。



山野里宿遺跡出土遺物
(県立考古博物館・上郡町教育委員会蔵)

戦国時代の播磨 - 赤松氏の播磨支配の終焉と黒田官兵衛の登場 -

戦国期になると備前国の守護代であった浦上村宗により備前の支配権は浦上氏によって握られたほか、本拠地の播磨でも、中播磨では一族の御着城主の小寺氏が、また東播磨では三木城主の別所氏が自立し、赤松氏の領国は置塩城を拠点とする西播磨に限られるようになる。

しかし、織田信長の命を受けた羽柴秀吉の播磨侵攻を受け、一族はほとんどが滅亡し守護赤松義祐の子則房の代には羽柴秀吉の家臣となり、僅か1万石の大名にまで没落するが、小寺氏の家臣であった黒田官兵衛孝高はいち早く織田方に付き、秀吉の軍師として数々の戦に勝利し、ついには筑前福岡52万石を領有するに至る。

関連イベント

赤松氏のすべてがわかる連続講座(全6回)

歴史学、城郭史、考古学の第一線の研究者が、赤松氏の興亡や赤松氏関連の山城、さらには室町将軍の住居であった花の御所について様々な角度からアプローチ。
10月～12月の土曜日に開催(11月24日(日)のみ日曜日)(無料。当日受付。)

赤松氏ゆかりの城跡をめぐる - 赤穂郡上郡町白旗城-

赤松氏の居城白旗城訪ねる遺跡ウォークを企画しています。11月10日(日)に開催。要申込。

家族でお楽しみください! イベント&クイズラリー

大人から子どもまで、ご家族で楽しめるイベントを開催。

- ・10月12日(土)～13日(日)「考古博であそぼう - 戦国時代編 -」
- ・10月27日(日) 11:00・14:00・15:30「三木合戦絵解き」語り手生田淳仁氏
- ・会期中の土曜日・日曜日(10月6日)を除く 13時～13時半
ひょうご考古楽倶楽部による紙芝居「赤松一族」「黒田官兵衛」

【問い合わせ】

兵庫県立考古博物館 学芸課 (TEL 079-437-5562)

